UTSUNOMIYA Blitzen TIMES

November.2023
Vol.85

Race Report

10.14　JAPAN CUP CRITERIUM
10.15　JAPAN CUP CYCLE ROAD RACE
10.09　JCX series 第 1 戦 土浦ステージ

ジャパンカップ クリテリウム

かつてないハイスピードクリテでも ブリッツェンらしさが光るレースに

Digest movie

元世界王者のアラフィリップが レースを掻き回す中、阿部が逃げに

宇都宮市に日本中からサイクルロードレースファンが集まるジャパンカップ。日曜日に行われるロードレースは今年で30周年を迎え、市民にはすっかりお馴染みの秋のビッグイベントに成長した。シーズンオフ直前のレース、しかもアジア開催にも関わらず本場ヨーロッパの強豪チームからの注目も高く、今年はUCIワールドツアーチームが7チーム、UCIプロチームが3チーム、UCI海外コンチネンタルチームが1チーム参戦する。迎えうつ国内勢は宇都宮ブリッツェンを筆頭に、日本ナショナルチームを含めた全8チームだ。

宇都宮ブリッツェンは8日に今シーズン最後にチームを退団する選手を発表しており、阿部嵩之、堀孝明、小坂光の3名が宇都宮ブリッツェンメンバーとしてのジャパンカップラストランとなった。昨年クリテリウムで5位に着け、チームでスプリントの要となる小野寺玲も出場が予定されていたが大会直前で新型コロナウイルス感染症陽性が判明し、出場は叶わなかった。彼も退団が発表されている。

晴れ渡る秋晴れの下、パレード走行2周を行い、宇都宮市大通りの沿道に集まった市民、ファンの声援に応える選手たち。スタートの号砲が鳴り響くと一斉に色鮮やかなジャージが猛スピードで走り出した。大通り周回コース2・25kmを15周、約33kmと短い距離のクリテリウム。前半レースを盛り上げたのはスーダル・クイックステップの（2021、2022年世界チャンピオン）フランス人ライダー、ジュリアン・アラフィリップ選手だ。最初のスプリント賞を獲得すると、アンドレア・ピッコロ選手（イタリア、EFエデュケーション・イージーポスト）、パスカル・エインコールン選手（オランダ、ロット・デスティニー）を従えて逃げを続けた。2度目のスプリント賞はエインコールン選手になった。

残り7週になると後続のメイン集団も黙ってはいられない。逃げる3名に6名が追いつき、さらにその後ろからは大集団が迫る。残り6周で一つの集団になると宇都宮ブリッツェンも動きを見せ始める。阿部がするすると先頭の牽引に加わり、周囲に目を配る。最後の3回目のスプリント賞はギヨーム・マルタン選手（フランス、コフィディス）が獲得している。

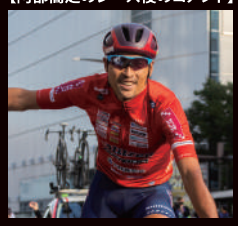
ハイスピードで展開するクリテリウムはあっという間に残り2周に。日本ナショナルチームの松田祥位選手が単騎で飛び出して見せ場を作るものの吸収され、その瞬間から最終局面に向けて集団は一気に活性化。日本勢は愛三工業レーシングチームがトレインを組んで先頭を牽引するが、海外勢も容赦しない。前半にスプリント賞を獲ったアラフィリップ選手が引き出すと、そのまま最後の直線に。大混戦となった集団スプリントを制したのはエドワード・トゥーンス選手（リドル・トレック）だ。32歳のベルギー人が、見事ジャパンカップクリテリウム3連覇の偉業を成し遂げた。宇都宮ブリッツェンの最高位はフォン・チュンカイの17位だった。

クリテリウムは宇都宮ブリッツェンはじめ、国内勢は翻弄されてしまったが森林公園で行うロードレースはまた勝手がちがう。西村大輝監督は「ロードは谷順成で少しでも上の順位を狙う。宇都宮ブリッツェンの選手たちの走りに期待してほしい」とコメント。赤いジャージの躍動を期待したい。

ジャパンカップクリテリウム リザルト

1位	エドワード・トゥーンス（リドル・トレック）	0:40:59	
2位	ライリー・シーハン（イスラエル・プレミアテック）	+0:00	
3位	アクセル・ザングル（コフィディス）	+0:00	
17位	フォン・チュンカイ	+0:00	
26位	沢田　時	+0:00	
35位	谷　順成	+0:00	
71位	阿部嵩之	+0:00	
84位	小坂　光	+0:00	
DNF	堀　孝明		

【阿部嵩之のレース後のコメント】



高速のコースでワールドツアーのチームが多かったため、これまでのようにトレック勢が集団をコントロールしてレースを作るわけではなく、どのチームもアタックして見せ場を作りたいというレースだった。正直それに翻弄される形になり、予想できることではあった。
（退団で宇都宮ブリッツェンのジャージを脱ぐことは）寂しいですね。移籍する次のチームが、僕が現役の間にジャパンカップに出られるかどうかはわからない。それくらい今のジャパンカップは選出されることが難しい。現役中にブリッツェンで走れたことは、幸せですね。

ジャパンカップ サイクルロードレース

雨のレースも谷・沢田が健闘し、48名の完走者で谷が日本人3位

阿部、小坂、堀のブリッツェンでのラストレースに大声援が送られた

2023年で30周年を迎えたジャパンカップサイクルロードレース。1990年に行われた世界選手権自転車競技大会のメモリアル大会として、2年後の1992年から開催されて日本中の自転車ファンを熱狂させてきた。レースの一番の見どころとなっている古賀志山の林道は世界選手権時は反時計回りに上ったが、ジャパンカップから時計回りに変更。かつてのコースは、萩の道から鶴カントリークラブ倶楽部前の激坂を経由するもう一つの難所もあったが、2015年から現在のコースになっている。

早朝から強い雨に見舞われた15日の宇都宮市。前日のクリテリウムは秋晴れで絶好のレース日和ということもあり、過去最高となる5万5000人の観客が大通周回コース周辺に訪れていた。だがロードレースは当初、これまでの14周（144・2㎞）から2周増えた16周回（164・8㎞）が予定されていたが、悪天候により13周（133・9㎞）に短縮されることに。古賀志山のヒルクライムも13回と減る形となったが、選手たちにとって厳しいコースには変わらない。苦しい展開が予想された。

雨のレースとなったが、宇都宮ブリッツェンのキャプテン・谷順成は「晴れが望ましかったが、日本のチームにとって決して雨は不利にならないと思う。雨でチャンスも出てくるし、プラスに考えている」とレース前に語っていた。

周回数こそ変更されたが、レースは定刻にスタート。1周目から海外勢がアタックを仕掛け、集団は二つに分裂。2周目に入るとジュリアン・アラフィリップ選手（フランス、スーダル・クイックステップ）ら4名が逃げを決めた。3周目の上りで抜け出したアラフィリップ選手が最初の山岳賞を獲得。そのまま独走し、世界選手権を二度制した脚力で宇都宮に集まったファンを魅了する。

アラフィリップ選手から40秒遅れで20名、2分弱遅れで約40名が追走。宇都宮ブリッツェンは40名に谷、沢田時が残っていた。しかし、雨の影響か頭痛で堀孝明が、さらに小野寺玲の代走としてエントリーした小坂光も降車することに。堀が自転車選手になった原点は、チームを創設した廣瀬佳正副社長が現役時代に山岳賞を獲得したジャパンカップだ。それだけに「宇都宮ブリッツェンの選手として臨んだ最後のジャパンカップ、最低限完走はしたかった。3回目の山岳賞を狙っていた」と悔しさをにじませた。

小坂は2009年のチーム創設時初期メンバーだ。彼にとってジャパンカップ出場は同年と2010年以来となる3度目。「久しぶりのジャパンカップで浴びる声援。古賀志山の上りでは涙が出そうになった」と、途中リタイアとなったが宇都宮ブリッツェンの選手として出走できたうれしさを噛み締めた。

雨足が弱まらないように、先頭を走るアラフィリップ選手の脚力も勢いは変わらず、7周目に入っても一人旅は続いた。約30名の第2集団とは1分強のアドバンテージ。谷や沢田のいる第3集団とは2分半強のタイム差がついていた。

宇都宮ブリッツェンは阿部高之も中盤でバイクを降りることになった。幾度となくジャパンカップを走ったベテランの阿部だが「雨で周回も減ったせいか、今まで経験した中で一番速い入りだった。空いた差を埋めるのが難しいくらい速かった」と振り返る。赤いジャージで走る最後のビッグイベ

Digest movie

ントを完走できなかったことに「残念な形で終わったが、まだ引退するわけではない。（沿道から）頑張れアベタカ！　と声がかかってうれしかった。だからこそ声援に応えたレースがしたかったが今日は叶わなかった。次のチームでもまた出たい。それを目標に頑張りたい」と続けた。

8周目の古賀志山を越えるとアラフィリップ選手に後続が追いつき、5名の逃げに。しかし、そのすぐ背後には15名ほどがいる。9周目、3回目の山岳賞はジェームス・ノックス選手（イギリス、スーダル・クイックステップ）が獲得。トップから20番通過までが約30秒のタイム差だ。そこに国内選手は岡本隼選手（愛三工業レーシングチーム）が生き残っていた。谷、沢田は2分15秒ほど遅れた追走集団にいる。

レースも佳境に入り、残り3周に突入するとアラフィリップ選手が再び仕掛けた。スタート&フィニッシュ地点を単独で通過して観客を沸かせると、そのまま古賀志山を駆け上がる。まるでレース序盤の再現のようだったが、昨年5位のマキシム・ファン・ヒルス選手（ベルギー、ロット・デスティニー）が追いつき、山頂をトップ通過して逃げ始めるが後続も活性化。2013年の世界チャンピオン、ルイ・コスタ選手（ポルトガル、アンテルマルシェ・サーカス・ワンティ）がアタックし、単騎で残り2周へ突入。アラフィリップ選手、コスタ選手と歴代の世界王者たちが宇都宮で逃げる姿は、まるで30周年記念大会を祝うかのようだ。

昨年6位のギヨーム・マルタン選手（フランス、コフィディス）、フェリックス・エンゲルハルト選手（ドイツ、チーム・ジェイコ・アルウラー）が追いつき3名になると、ついにファイナルラップに突入。後続とは1分06秒のアドバンテージがあった。最後の山頂を越え、県道に抜け、田野町交差点を左折しても3名は牽制の様子も見せずに突き進む。

残り200mを切って勝負に出たのはコスタ選手だ。元世界王者らしくスプリント勝負でも一枚上手の抜け出しで、見事に優勝をもぎ取った。ジャパンカップサイクルロードレースを制した若手選手はヨーロッパでも飛躍的に活躍することが多いが、今回は世界を制したベテランのコスタ選手による勝利。偉大な選手による優勝で30周年記念大会は幕を閉じた。

宇都宮ブリッツェンは谷が28位、沢田が39位で完走。世界トップクラスの選手たちを前に思うような戦いをすることはできなかったが、UCIポイント圏内である40位以内での完走は果たすことができた。谷と沢田はフィニッシュ時は一つでも順位をあげるためにもがき、二人でポイント獲得することができた。レースの完走者は48名。半数以上がリタイアするハードな大会となった。

なお、昨年まで宇都宮ブリッツェンのキャプテンを務めた増田成幸選手（JCL TEAM UKYO）は42位で完走している。2022年10月のJCLしおやクリテリウムで落車し、骨盤骨折の大怪我を負ったが長い入院生活を経て、シーズン半ばからレースに復帰していた。宇都宮市民にも増田選手のファンは多く、宇都宮ブリッツェンと同様に今後もジャパンカップを盛り上げてくれるであろう一人としてここに記しておきたい。

ジャパンカップサイクルロードレースの観客数は7万4000人。あいにくの天気だったが多くのファンたちが選手の躍動に胸を高鳴らせた。

ジャパンカップクリテリウム リザルト

1位	ルイ・コスタ（ポルトガル、アンテルマルシェ・サーカス・ワンティ）	3:28:22
2位	フェリックス・エンゲルハルト（ドイツ、チーム・ジェイコ・アルウラー）	+0:00
3位	ギヨーム・マルタン（フランス、コフィディス）	+0:00
28位	谷　順成	+08:07
35位	沢田　時	+09:09
DNF	フォン・チュンカイ	
DNF	阿部嵩之	
DNF	小坂　光	
DNF	堀　孝明	

【堀 孝明のレース後のコメント】

ジャパンカップで廣瀬さんが山岳賞を獲る姿を見て、自転車選手になろうと思った。自分の原点の大会。宇都宮ブリッツェンの選手として臨んだ最後のジャパンカップで最低限完走はしたかったし、3周目の山岳賞を狙っていたから悔しい。これはもう一度ここに戻ってこいと言うメッセージだと思う。次のチームに行っても、ジャパンカップに戻ってきます。

▼山岳賞
3周目：ジュリアン・アラフィリップ
6周目：ジュリアン・アラフィリップ
9周目：ジェームス・ノックス
12周目：ルイ・コスタ

▼アジア最優秀選手賞
岡本隼選手

▼23最優秀選手賞
エドアルド・ザンパニーニ

JCX series 第1戦 土浦ステージ

今季初戦の小坂に何が!? レース途中で失速の異変

コロナ後遺症か、明らかに力が入らず それでも諦めずペダルを踏み続ける

「茨城シクロクロスJCXseries第1戦土浦ステージSUPPORTED BYお米の田島屋」が、茨城県土浦市りんりんポート土浦／川口運動公園特設会場にて開催された。

会場は雨風が強く吹けつける悪天候にも関わらず多くの観客が訪れ、赤い装いのブリッツェンサポーターも駆けつけてくれていた。待ちにまったシクロクロスシーズン初戦ということもあり、多くのシクロクロッサーが今大会にエントリー。参加者総数は500名を超えており、シクロクロス人気は健在だ。

そんな中、最高カテゴリーである男子エリートのスタートラインに並んだのは78名。宇都宮ブリッツェンシクロクロスチームからは小坂光が単騎参戦となる。チームメイトの沢田時は、同日に行われた「ツール・ド・九州2023」に参加しているため、チームメイトの分も孤軍奮闘で勝利を目指す。

スタート時間が予定よりも2分遅れとなり、14時32分に男子エリート選手が一斉にコースに飛び出す。最前列スタートの小坂も勢いよく飛び出し、第1コーナーは前方でクリア。例年通りの様子でスタートして行ったかのように見えた。しかし、今日の小坂は明らかに様子がおかしい。1周目の序盤に先頭で走る副島達海選手（大阪産業大学）からズルズルと後退していく。

2周目に入る頃には先頭とのタイムギャップは40秒差となり、粘る様子もなく次々と順位を落としていく。実は1か月前に新型コロナウイルス感染症を発症させ、約1週間トレーニングから離れていたのと、普段の生活では感じないが心拍数が上がると呼吸に違和感が出る。身体が上手く機能せずパフォーマンスが出せない中、それでもゴールを目指してペダルを踏み続ける。

優勝は、1周目から他を寄せ付けない走りを見せた副島選手。小坂は4分21秒遅れてゴール地点にたどり着いた。ガッカリした様子でチームピットに戻り、スタッフに「すいません…」と謝る小坂。シクロクロスシーズンはまだ始まったばかり。開幕戦は苦い結果となったが、元シクロクロス日本王者のプライドをかけ、必ず復調し、「光」走りをファンに届けるだろう。

JCX series 第1戦土浦ステージリザルト

1位	副島 達海（大阪産業大学）	57:48.240
2位	柚木 伸元（日本大学）	＋00:42
3位	松田 賢太郎（SUPACAZ）	＋01:02
11位	小坂光（宇都宮ブリッツェン）	＋04:21

2024年1月1日よりファンクラブ会員受付開始

宇都宮ブリッツェンオフィシャルファンクラブ 2024 年度会員募集が始まります。2024 年も充実した入会特典をお届けいたしますので、是非この機会にご入会をご検討ください。皆様のご入会を心よりお待ちしております。
募集の開始時期については、宇都宮ブリッツェン公式 WEB サイト他、SNS でご案内いたします。

私たちは宇都宮ブリッツェンを応援しています。

MERIDA　MIYATA　カンセキ　下野新聞社
ORES　TOYOTA WOODYOU HOME　日成メディカル
ナカニシ　SHIMANO　足利銀行　ローラン　Mitutoyo
トヨタカローラ栃木　住めば愉快だ宇都宮　HONDA Honda Cars 栃木中央
作新学院　栃木信用金庫　渡辺建設株式会社　とちテレ　弱虫ペダル　仲田総業株式会社　TOCHIGI
GOKO　TCB観光　ケイズブレイン　NIPPON EXPRESS　UDOKEN　BOA　株式会社 ティーツーテクニカル
フクダヘルシー　くにい矯正歯科　関東自動車　宇都宮食販　たちつてとちぎ　SurLuster
Dexerials　CRTハウジング　たいらや　TIGER　Continental Home コンチネンタルホーム　JBJARBIS　Kids Corporation Holdings　日本栄養給食協会　(株)松本建設
榮商事株式會社　Apec's　KODAIRA ENTERPRISE　坂田新聞店　ZEST　こくみん共済 coop　藤井産業　NIKKANE　seibu
Power Pharmacy　PÂTISSERIE QUEEN　MIZUHO みずほ証券　多気山不動尊　YOKOO 横尾製作所　Wellness　株式会社 ツカサ精密　mommiya　宇都宮中央法律事務所
栃木トヨペット　TAKATSUE MTB RESORT　山陸　渡辺産業株式会社　UBC 宇都宮文化センター株式会社　Fuji Logicargo　有限会社 大草鉄工建設　Sokan　PR TIMES
近畿日本ツーリスト　石井機械建設　ISHIKAWA　第一生命　ROOTS SPORTS JAPAN　株式会社 景観プランニング　鹿野建設株式会社　Daiwa House
植木鋼材株式会社　YUU YUU WORLD 株式会社 ユーユーワールド　ライブガーデン　PASEO　日本生命　足利電話株式会社　天昇堂　ゆめクリニック